

白毛門雪山講習会

【山域】谷川岳 【日程と天気】2016/12/17 日帰り・雪

【メンバー】：柘植秀樹(CL)・江橋健一・川上眞・石崎健志・磯部菊子(記録)・澤田路子
山内英晴・澤田淳子(SL)

【行程】9:05 土合駅出発→10:10 889m地点で初休憩→11:27 休憩2回目 1168 m地点
12:25 ころ(1230m)風雪が激しくなり引き返し⇒白毛門駐車場付近にて滑落停止訓練
⇒15:00 土合駅⇒湯テルメ⇒水上 IC⇒千葉

柘植さんの机上雪山講習会では、冬山装備やテント生活について講習を受けましたが、今回はその実践編として、雪山を体験するために白毛門の途中まで行ってきました。

千葉の夜中に出発時は、星が煌々と瞬き凍るような寒さでしたが、乗車して夜が明け左手に真っ白な富士山、進むにつれて雪を被った山々が見えてきて、これから行く雪山への期待と不安が湧いてきました。やがて雪道になり、土合に到着。駐車場は雪で埋もれているので、早速スコップで雪を除け、踏み固めて駐車スペースを確保します。土合は、無雪期にしか来たことがなかったのですが、トイレは綺麗で暖かく室内の休憩場所もあり、感心させられました。土合から登山口までの10分は舗装道路、白毛門駐車場はさらに雪が多く駐車できない状況に納得でした。



白毛門駐車場入口



尾根の下部を登る

登山口からは急斜面を登ります、踏み固められているところもありますが、逸れると膝ぐらいまで雪の中に沈んでしまいます。時々薄日が差したりして、粉雪がチラチラと舞っていたのが、吹雪く様になり、かなり寒くなってきました。



だいぶ上がってきたが雪は深い



雪庇の縁に出る

右手に白毛山が大きく見える頃は、行く山道の崖側に雪庇が連なり、雪山ならではの光景です。その後は風雪がどんどん激しくなり引き返すことにしました。



行く手を阻む雪庇



晴れていれば最後はこんな感じらしい

下山にはワカンを装着、私は初めての経験でしたので、家で練習をしていたにもかかわらず、うまく装着できず、結局途中で外すことになってしまい(手袋をつけて練習をしておけば良かった)冷たい風雪の中で皆さんを待たせてしまい、迷惑を掛けてしまいました。個人装備の準備と装着は自己責任であることを深く反省。

駐車場付近につき、ピッケルを使っての滑落訓練を行いました。持っているだけでは宝の持ち腐れ、練習を重ねて使いこなせるようになりたいと感じました。



どんなもんだあ



あれえ

下山後は温泉で暖まり、帰路につきました。

個人的な感想になりますが、「ちばやま」の会員となり、初参加の山が講習会とはいえ雪山というのはちょっと無理があったように感じますが、これからも色々な山に参加させて頂き、自分に合った山を見つけ楽しみたいと思います。

磯部菊子（記録）